





宮城縣遠田郡涌谷町

馬場藤三郎

入間田圭次

武田文治郎

加茂清四郎

櫻井良治

土生支松

涌谷町會議員

涌谷警察署長

元涌谷町會議員

涌谷町



涌谷高等小學校長

石川一壽

外職員高等科  
男生徒一同

元涌谷村

百々外益

全村會議員

三浦儀一郎

南鄉村々長

高橋道讓

遠田郡々冬季會員

長谷新

元涌谷村

澤田運藏

全

鈴木想治郎

元涌谷村高等小學校長  
菅原芳吉

外職員高等科  
男生徒一同

元涌谷村長

内海想吉

外村役場吏員一同

涌谷郵便局長

吉田雄橘

涌谷所

平塚定八

全

川谷末松



宮城縣立涌谷高等女學校長

阿素

利八

外職員生徒一同

遠田郡長

内田左平

郡視學

伊原善右衛門

元涌谷村

永瀬春馨

々

小野寺博雄

涌谷所

後友順藏

々

齋屋象治

々

石原憲太郎

々

照井清吉

々

竹内三郎

々

長崎義兵衛

々

平塚定八

々

菅原惣吉



元涌谷村

左

互理 頼子

互理 亀久子

篁嶽村長

福田 市右衛門

大曾村長 總代

佐々木 源三郎

元涌谷村

左

吉田 清市

二階堂 熊太郎

左

佐藤 政治

涌谷町

成澤 文助

左

大泉 運吉

以上の奉式定刻前、互理家即内休憩所迄  
集ルル者ノニテ者日其風吹キ荒ミ先ニ圍ラ  
ス老千人ヲ越ヒシル冬拜者ナルヲ以テ佳所哉谷ヲ  
記スルヲ得ス

奉式執行次第

一 式場、旧涌谷館主吉代互理胤正氏祖先



伊達安藝公ヲ祭リ先旧城趾涌右神社境内  
ノ西方ニ面シタシ高臺ニ祭壇ヲ設ケ四圍ニ標ヲ  
張リ大櫛ヲ安置シタリ

第一鐘声ヲ以テ定刻午後三時參拜者一同式場  
ニ各集縣立涌右高等女學校生徒全部涌  
右所高等女學校元涌右村高等女學校男  
徒高等科全部校長引率ノ下ト各列シタリ

第二鐘声ヲ以テ祭官修祓ノ式アリ玉串ヲ捧ク

第三鐘声ヲ以テ前本郡々會議長黒澤藤三郎氏

迎神之辭ヲ捧讀本郡々長内田九平氏涌

右所長(所長不参ニ代テ)祭文ヲ朗讀入間日圭氏

頌徳ノ演説アリタリ

旧館主互理胤正氏夫人亀久子併ニ母室類子

乃自高等女學校校長小學校校長各村長各自代

表シテ玉串ヲ捧ケ遙拜ヲ為スタリ就テ會衆有

志玉串ヲ捧ケ遙拜ヲ為スタリ

第四鐘声ヲ以テ櫻井良治弋司會ノ下ト會衆一同

送神默禱ヲ為スリ

第五鐘声ヲ以テ靜肅裏ニ送拜式終了



一冬科名中 涌谷郵便局長吉田雄橘氏奉  
奠トシテ金老園也。靈臺前ニ供スクリ  
右別紙郵便局務ヲ以テ送呈

右大隈老侯國氏葬儀送拜式ニ所要ノ  
費用ハ催主一人元 涌谷所 黒澤藤三郎  
氏ニ於テ 祭官手老、供物料印刷費廣告料  
薪炭人夫通信拜等一切合計金五拾餘円  
ヲ支出負擔シタリ  
催主中事故不冬者ハ

田尻所 岡恭久氏 全町佐々木敬之氏  
南郷村 佐木健太郎氏 以上早稲田大學校友  
南郷村 野田健藏氏 病臥中  
涌谷所 坂本敬一郎氏

附記前記黒澤藤三郎氏ハ旧谷純治トシ明治廿八年  
中東京専門學校考時、政治科在學者ニシテ故板垣退助伯之  
知ニテ故黒澤藤三郎君ノ相續人ニテ現ニ憲政會官城支部  
幹事タリ又々前代議士互理嵐正君ノ冬謀長ナリ故秀乃磨君ノ  
知遇ヲ得タリ以テ若希大隈家ノ出陣者ナリ  
這般ノ送拜式執行ニ際シモ氏、首唱ニ懸カレラ以テ茲ニ特記ス

大正十一年一月十七日  
故大隈公送拜式執行庶務係 吉田精市謹誌



